

ろうけつ染めをしよう

[対象：小学1年生以上]



ろうけつ染めとは

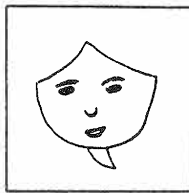
乾いた布に、溶かしたろうをしみ込ませた筆で文字や絵を描きます。ろうが固まったら染色しますが、この時、ろうをつけた部分は染まらないので白く残ります。このような染め方を「ろうけつ染め」といいます。

[準備物]

- ・パラフィン（ろう） ・溶かしたパラフィンを入れる容器（空缶など） ・新聞紙
- ・染料を溶かす容器 ・筆 ・食塩
- ・染料（コンゴレッド） ・アイロン
- ・さらし木綿（60×60cm）

1. 布に、鉛筆で下絵を描く。

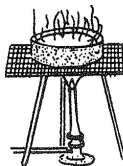
○細かなものを描くと、ろうを塗る時に線の区別をしにくくなるので、見本となるような絵を提示して描かせる。



2. ろうを溶かす

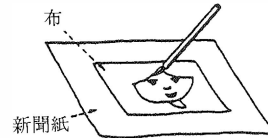
○空缶にろうを入れて、白煙がでるまで溶かす。

○白煙（ろうの気体）は有毒なので、吸わないように注意させるとともに、室内の換気に、十分の配慮をする。



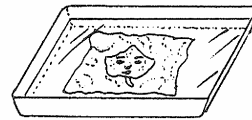
★ねらい 自分の好きな文字や絵を描いたり、染色する色を選ばせたりしてろうけつ染めを行なわせることにより、ろうで描いた部分が染め抜かれてできる模様の美しさやろう染料の特性にふれさせる。

3. 下絵に、筆でろうを塗る。

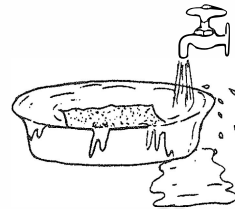


4. 染色する。

○コンゴレッド3g、食塩3gを水に溶かし、この中に、文字や絵をろうで描いたさらし木綿を30分間入れて染色する。



5. 染色したさらし木綿を水洗いし、乾かす。



6. 乾いたさらし木綿を新聞紙に挟んで、アイロンをかけ、ろうを新聞紙に吸い取らせる。

